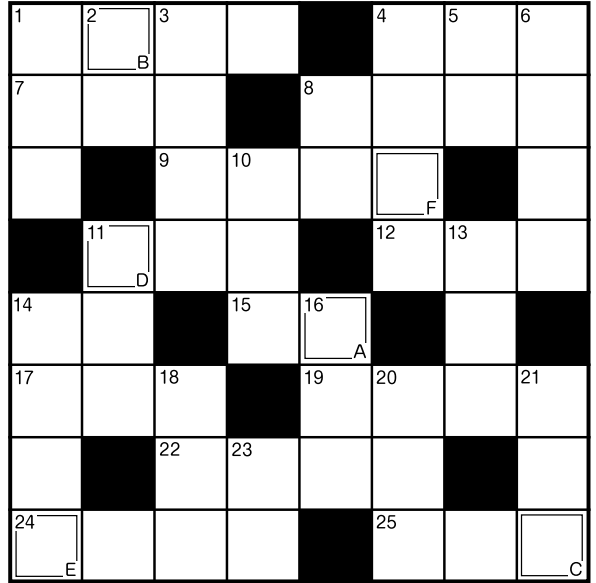


(2022年8月)

ヨコのヒント

- 今年5月、アメリカ合衆国の〇〇〇〇大統領が就任後、初めて来日しました。
- 目に見える範囲。「濃霧で〇〇〇が悪い」などと使います。
- 〇〇〇シップ。「肌と肌の触れ合いを大切にし、心を通わせる」という意味で使われます。
- 小惑星「リュウグウ」から探査機「〇〇〇〇2」が地球に持ち帰った砂から、生命の起源に迫るさまざまな物質が見つかっています。
- 豊臣秀吉にも仕えた画家、狩野〇〇〇〇。代表作は「唐獅子図屏風」です。
- 15～16世紀、ペルー南部で繁栄した〇〇〇〇帝国。高い文明を有しましたが、スペイン人に征服され、滅びました。
- シャーロック・ホームズの生みの親、コナン・〇〇〇〇。
- 「泥棒を捕らえて〇〇を縛う」。準備を怠り、事が起こってから慌てて用意をするたとえです。
- 「〇〇に冠を正さず」。人から疑われるような行いは避けるべきだということです。
- 長崎県〇〇〇〇。古くから朝鮮半島への玄関口となっていました。
- 「〇〇〇〇らしい」。まじめくさって、堅苦しい、という意味です。
- 悪いことのうえに、さらに悪いことが重なって起こる。「〇〇〇〇に蜂」といいます。
- 平氏打倒に尽力した源〇〇〇〇ですが、兄・頼朝と対立し、奥州・平泉で倒されてしまいます。
- 永世中立国で、首都はベルン。第2の都市・ジュネーブには多数の国際機関の本部があります。



【答え】

A	B	C	D	E	F

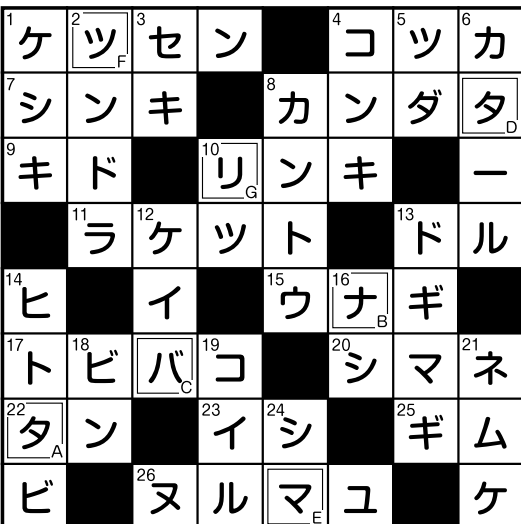
- 〇〇〇・ダ・ガマはポルトガル出身の航海者。アフリカの南を回ってインドに至る航路を開きました。
- ひそめたり、詰めたり、のんだり、弾ませたり。さて、これは何?
- ベートーベン作曲の交響曲第6番。「〇〇〇〇交響曲」ともいわれます。
- 物事の値打ちをはかる基準になるもの。「幸せの〇〇〇〇」などと使います。
- 「〇〇〇〇が上がる」。評判が良くなる、とこの意味です。
- 目上の人に、悪い行いや、間違いなどを直すように「お叱り合います」。
- 平和のシンボルとされる鳥。
- 船のある場所にとどめるために、水中に沈めるおもり。
- 陸に揚げるとすべに弱って腐りやすことから、漢字で「鰭」と書く魚は?
- 部下への態度が〇〇〇〇的にならないように気をつける。
- 「〇〇〇〇はまだ宵ながらあけぬるを雲のうしろに月やよのひのちかき清原深養父」
- 一日の最高気温が摂氏30度を超える日を「〇〇〇〇」といいます。
- 童謡「七の子」で歌われている鳥は?
- 大宰治作「走れ〇〇〇」。人を信じるこの大切さを説きます。
- 〇〇〇と曰。餅をつくべきに使います。

タテのヒント

前月号の解答と解説

【答え】

A	B	C	D	E	F	G
タ	ナ	バ	タ	マ	ツ	リ



★七夕まつり

天の川の西岸に住む織織りの名手・織姫と、東岸に住む牛飼いの牽牛が、織姫の父親である天帝の勧めで結婚します。ところが、結婚すると、2人は毎日、仲良く遊んでばかりで、仕事をしなくなりました。それに怒った天帝は、天の川を隔てて2人を離れ離れにします。しかし、2人があまりに悲しそうにしているのを、それをかわいそうに思った天帝は、毎日、仕事に励むことを条件に、1年に1度、7月7日の夜だけは、2人が会うことを許します。

中国発祥の、この七夕伝説(星伝説)は、中国国内で広まっていく過程で、年に1度の2人のデートを祝う一方、織姫にあやかって手芸や裁縫などの上達を祈るお祭りとなります。そして、奈良時代に日本に伝わると、日本独特の風習や伝説と結び付き、朝露を集めて墨をすり、その墨を使って習字の練習をしたり、短冊に願い事を書いて笹に飾ったりといったような、さまざまなスタイルの七夕まつりが生まれました。

さて、この8月号が皆さんの手元に届くのは7月中旬。七夕はもう終わっていると思うかもしれませんが、本来、七夕の行事は「太陰太陽暦」という古い暦で行われるもの。毎年、その日の前後にお祭りを開催する自治体もたくさんあります。しかし、たくさんの方が商店街などに集まるため、新型コロナの感染を心配し、今年は露店などを規制して開催するケースも少なくありません。今年の七夕は8月4日。当日、晴れていたら、夜空を眺め、織姫星と牽牛星(彦星)を探してみてください。ちなみに、織姫星はこと座のベガで、彦星はわし座のアルタイル。伝説では、織姫はカササギの翼に乗って牽牛に会いに行きますが、このカササギは、はくちょう座のデネブです。この三つの星で「夏の大三角」を形成しているのです。

ヨコ

- 決選(けっせん)
- 国家(こっか)
- 心機(しんき)
- 健陀多(かんだた)
- 木戸(きど)
- 臨機(りんき)
- ラケット
- ドル
- うなぎ
- 跳び箱(とびばこ)
- 島根(しまね)
- 短(たん)
- 石(いし)
- 義務(ぎむ)
- ぬるま湯(ぬるまゆ)

タテ

- 気色(けしき)
- ツンドラ
- 閑(せき)
- 根気(こんき)
- 津田(つだ)
- カタル
- 関東(かんと)
- 率(りつ)
- 競馬(けいば)
- どぎまぎ
- ひとたび
- 梨(なし)
- 敏(びん)
- コイル
- 眠気(ねむけ)
- 志摩(しま)